

スベリヒユ (滑りひゆ)

名前の意味^{いみ}：ぬるぬるしたひゆの意味。ハナスベリヒユは、花が大きく、^{かんしょうよう}観賞用^{さいばい}に栽培される。

分類：双子葉類、スベリヒユ科、スベリヒユ属
(スベリヒユ科の^{さいばいしょくぶつ}栽培植物：マツバボタン)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、^{かわ}乾いた畑

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生^{じせい})

特徴：ふくれた^{くき}茎と葉。黄色い小さな一日花。

種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：5枚、^{りべん}離弁 (花びらが1枚ずつ散る)

花の時期：7—10月

食べ方：おひたしにして食べる

見分け方：ハナスベリヒユ (ポーチュラカ) は、花が大きく、^{かんしょう}観賞用^{さいばい}に栽培される。

見つけやすさ ★★★★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)